







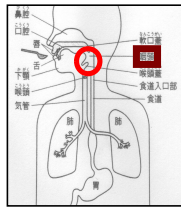



2020年 看護部院内研修

COVID-19感染症対策で書面研修開催となりました。

開催日	テーマ・内容	評価
5月25日	医療安全対策 • 古川病院の事故調査委員会と初期対応の流れ • 古川病院の事故調査 • 「医療に起因する死亡」「予期できなかった死亡」 • 事例テスト	難題テストによる結果は60%の正解率だったが、その分「へえー」と関心して興味深く事実を知り、事故調査の理解が深まる研修となった。
6月24日	感染対策「感染症から患者、職員を守るために必要な新型コロナウイルス感染症の正しい理解」 • 新型コロナウイルス感染症の概要、感染対策の基本と重要ポイント  手指消毒の実施  院内でのマスク着用  来院前の検温のお願い 	新型コロナウイルス感染症第一波後に、現段階で明らかになっている正しい情報を知った事で、職員がマニュアルの遵守が重要と認識できた。 

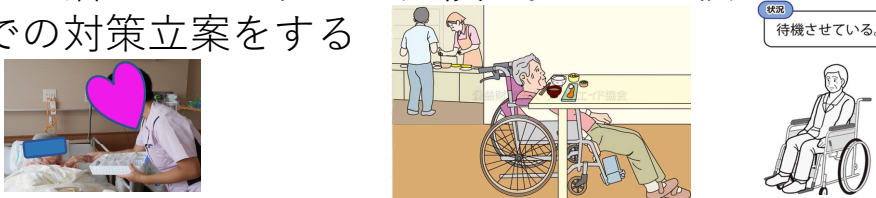
2020年 看護部院内研修

COVID-19感染症対策で書面研修開催となりました。

開催日	テーマ・内容	評価
<p>7月15日</p> 	<p>補助者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 古川病院の歩みと医療機能 個人情報と守秘義務、個人情報漏洩の対策 排泄ケアにおける感染対策、PPE着脱と手指衛生の留意点、陰部洗浄時の注意点 転倒転落リスク患者対応策で、安全ベルト、転倒むし、センサーマットの正しい取り扱い、事例テスト 身体抑制についての考え方と倫理的課題 	<p>PPE着用順序、排泄ケア時の手指衛生やゴム手袋交換など伝播の遮断を考える研修となった。</p> <p>事例の正解率100%で、実際に使う抑制具を、写真付きで特徴と使用時の留意点を理解する事ができた。</p>
<p>9月16日</p>  	<p>食事介助</p> <ul style="list-style-type: none"> 呼吸、摂食嚥下のメカニズム、嚥下機能と姿勢評価、ポジショニングと安全な食事介助 高齢者の食の特徴とケアの目的、観察項目、介助手順、評価の視点  	<p>メカニズムからポジショニング、食事時の注意点・観察点など、知識を深め、看護師・補助者ともに介助時の不安の解消につなげることができた。</p>

2020年 看護部院内研修

COVID-19感染症対策で書面研修開催となりました。

開催日	テーマ・内容	評価
9月23日 25日	<p>感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症と疫学、症例、当院の方針と対策 発熱外来の運用と診療の流れ 	10月発熱外来に向けて、当院の取組みが伝わったことで、職員全員が現状を正しく認知でき感染対策の強化につながった
10月28日	<p>医療安全</p> <ul style="list-style-type: none"> 「与薬・食事介助・車椅子介助」のイラストKYTを使い潜んでいる様々な危険を見つけて個人レベルでの対策立案をする 	職種により写真・イラストを変えKYTを行ったが、それぞれ楽しみながら3～8つの危険の予知があげられた。いろいろな目線からの気付きがあることを知ることができた研修となった。
12月16日	<p>認知症対応向上研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院中のケア問題、行動・心理症状(BPSD)の予防と対応、BPSDを予防する環境整備を考える 	「4大認知症の特徴・中核症状・BPSDの対応」の記述問題は満点が多く知識習得できた、また研修後に自身の関わり方を具体的に5つ以上記述出来ており、認知症の環境を振り返る学びとなった。